

春の訪れ 咲く笑顔

4月17日、市役所前からコミュニティセンターみずしろ交差点までの公園通りで行田春まつりが開催されました。

多種多様な苗木が訪れる人を楽しませてくれる春の苗木市のほか、市民プール脇SL前では新・行田音頭の披露などが行われました。色鮮やかな青い着物を身にまとった踊り手に混ざり、楽しそうに踊る子供たちの姿も。春の花とともに、訪れた誰もが笑顔を咲かせていました。



世界に一つだけのTシャツづくり

4月21日、藍染体験工房牧禎舎で「第1回伝統工芸品藍染体験教室」が行われました。

この日は、初心者を対象にかごの網目模様を入れる「かご染め」という技法でオリジナルTシャツを作成。藍甕かめに入れる時間や布を持つ力加減などでそれぞれ違った作品ができるとあって、参加者は世界に一つだけのTシャツづくりを楽しみながら、藍染体験を堪能している様子でした。

春の思い出の1ページ

5月2日、長野地区の畑でレンゲまつりが行われました。

この催しは、総合的な学習の一環として開催されたもの。参加した東小学校3年生の児童77人はレンゲが田畑の肥料となることを学習後、畑いっばいに広がるレンゲで花飾りを作ったり、捕まえたカエルを手にとって友達同士追いかけてこしたりと大はしゃぎ。児童の心には、春の楽しい思い出の1ページとして刻まれたことでしょう。



ホタルが飛び交いますように

5月15日、古代蓮の里ホタルの川でホタルの幼虫の放流が行われました。

「古代蓮の里ホタルの会」が市と協働して、古代蓮の里をホタルが飛び交い、自然とふれあえる場として親しんでもらおうと、平成17年から実施しているこの催し。保育園や幼稚園の子供たちとその保護者が、無事に成長し公園内を乱舞することを願い、ヘイケボタルの幼虫約6千匹を放流しました。

なお、6月17日から19日まで同会主催のホタル鑑賞会が行われます。